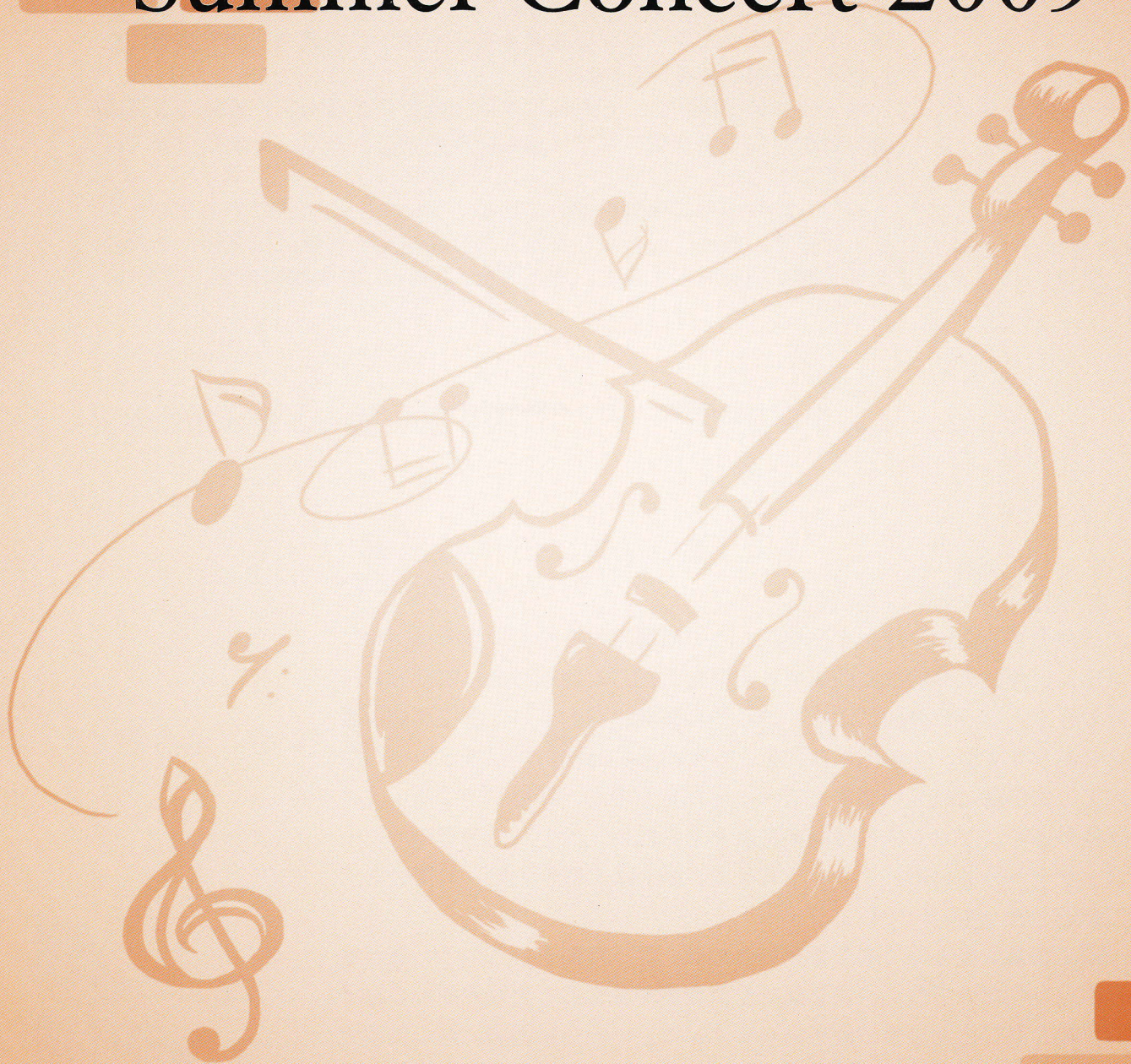
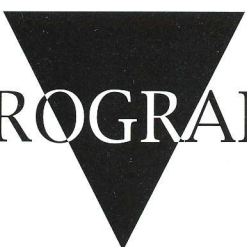
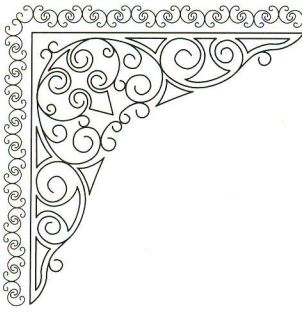


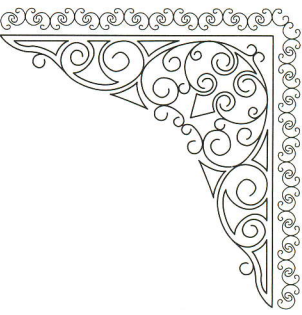
神戸大学交響楽団

Summer Concert 2009





PROGRAM



神戸大学交響楽団 サマーコンサート2009

Kobe University Symphony Orchestra Summer Concert 2009

喜歌劇「こうもり」序曲

ヨハン・シュトラウスⅡ世

指揮 木下麻由加

コンサートミストレス 佐藤綾香

交響曲第8番へ長調 Op. 93

ベートーヴェン

指揮 高谷光信

コンサートマスター 北野堅祐

交響曲第6番ロ短調 Op. 74 《悲愴》 チャイコフスキー

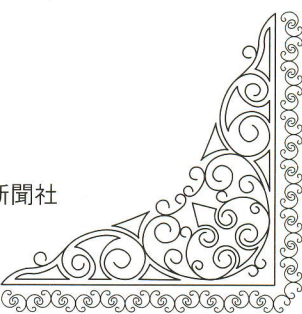
指揮 高谷光信

コンサートマスター 江口雄人

2009年6月13日(土) 午後6時30分開演

尼崎市総合文化センター アルカイックホール

後援＝兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社



客演指揮

高谷 光信



1977年京都市に生まれる。京都市立堀川高等学校音楽科（現・京都市立音楽高等学校）を経て大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、キエフ国立チャイコフスキー音楽院指揮科首席卒業。指揮を小松一彦、伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、V.プラソロフ、E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチの各氏に師事。

大阪音楽大学在学中、元ロシア国立ノヴォシビルスク歌劇場指揮者V.プラソロフ氏のレッスンを受講し、それを契機として本格的な指揮活動を開始する。

キエフ国立チャイコフスキー音楽院指揮科にてウクライナ国家芸術家エフゲニー・ドゥーシェンコ教授に師事。卒業時、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団に客演指揮者として招かれ、ベートーヴェン交響曲第7番を指揮し、ウクライナにてプロデビューを飾る。また、同楽団の招聘に応じ『バルトケービッチ国際音楽祭』に参加、成功を収め、2002年より楽団員の大きな支持により首席客演指揮者に就任する。その後も同楽団と共演を続け、2007年には『シベリア国際音楽祭』にて、ヴァイオリニストのエレーナ・ケシャーエバと共演、同年『ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ』では、音楽祭を締めくくるファイナルコンサートの指揮者に選ばれ、観客を魅了し、同楽団第2指揮者に就任。現在も定期演奏会や各国の音楽祭などで共演を続けている。また毎年夏期にウクライナ国立公園野外劇場にて、ホロヴィッツ国際ピアノコンクール主催「ホロヴィッツ国際ピアノアカデミー」において、世界中から選抜された優秀なピアニストと共演を重ね、ウクライナ全国にテレビ中継され、高い評価を受けている。

日本国内においても、大阪シンフォニカー交響楽団にてピアニスト近藤嘉宏と共演、瀬戸フィルハーモニー交響楽団にてウズベキスタン音楽集団『SHOD』、ヴァイオリニスト沼田園子と共演、福山シティーオペラ合唱団にてピアニスト江口玲と共演するなど活動の幅を広げている。

現在までに大阪シンフォニカー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団、神戸市室内合奏団、プラスパラダイス大阪など、国内外の多くのオーケストラ、吹奏楽団を指揮している。また東京混声合唱団とも、文化庁「本物の舞台芸術体験事業」「東京混声合唱団特別演奏会」「丹波篠山特別公演」等、数多くの共演を重ねている。

福山シティーオペラ合唱団をはじめ、これまでに関西シティーフィルハーモニー合唱団、早稲田大学グリークラブ、大正第九合唱団、コープこうべ第九合唱団等の指揮指導にもあたっている。

オペラの分野においては「ヘンゼルとグレーテル」、「ラ・ボエーム」、「トスカ」、「フィガロの結婚」、「魔笛」、「カルメン」などを指揮、バレエの分野では「眠れる森の美女」をバレエ付き全曲公演。今後も多くの演目の公演が決まっている。

第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。武庫川女子大学音楽学部非常勤講師。京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会非常勤講師。現在、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団 第2指揮者。

今後の活躍が期待される新進気鋭の若手指揮者である。

※トレーナーの先生方※

ギオルギ・バブアゼ（関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター）

徳田 知 希（大阪シンフォニカー交響楽団 首席トランペット奏者）

村 瀬 司（大阪シンフォニカー交響楽団 首席クラリネット奏者）

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。